

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
296	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Some risk factors for the development of type 2 diabetes in men and women of Belgrade population. Belgrade の男女住民の 2 型糖尿病発症リスクファクターについて	
執筆者	
Maksimović J, Sipetić S, Djurić-Pejović B, Vlajinac H, Maksimović M, Ratkov I, Dragičević S.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Srp Arh Celok Lek. 2010 Jul-Aug;138(7-8):462-6.	
キーワード	
2 型糖尿病、Belgrade、リスクファクター、喫煙、飲酒、コーヒー飲用、身体活動不足	
要 旨	
目的： 過去 20 年間に 2 型糖尿病の有病率は先進国においても発展途上国においても増加の一途をたどっている。喫煙、飲酒、コーヒー飲用や身体活動不足などの個人習慣が 2 型糖尿病患者の男女に差があるか否かを検討した。	
方法： 本研究は 2007-2008 年間に Belgrade で実施し、新規に 2 型糖尿病と診断された患者を調査した。2 型糖尿病と新規に診断された 80 人の男性患者と 99 人の女性患者を一次治療センターへ紹介した。人口統計学および身体特徴、さらに健康関連生活習慣は質問紙を用いて収集した。統計解析にはカイ二乗検定と t 検定を用いた。	
結果： 男性患者のほうがより多く工業や手工業に従事していたが、女性の方がより多く管理職に従事していた。女性に比べ男性に既婚者が多く ( $p < 0.05$ )、教育歴も長かった ( $p < 0.05$ )。栄養治療と身体活動の参加に男女差はなかった。女性患者は男性に比べコーヒーの消費が多かったが ( $p < 0.05$ )、飲酒習慣は少なかった ( $p < 0.05$ )。過去喫煙者は男性に多かった ( $p < 0.05$ )。	
結論： 生活習慣の一部が 2 型糖尿病発症に関与することを示唆した。	